

礼拝メッセージ アウトライン 2015-3-1  
タイトル 《ひと の創造》

聖書箇所 創世記 1:26-31 2:7

**起** ◎ 新聞記事 悲しい事件、上村(うへむら)りょうた君の話。  
中学高校生の現実 格闘、いのちの尊厳が分からない時代になっている。

◎聖路加病院名誉院長のクリスチャンドクター、103歳の日野原重明先生は  
小学5年生に対して《いのちの授業》をしておられる。

**承** 創世記に書かれているいのちの誕生について

1:26 神は仰せられた。「さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。彼ら  
が、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配するよう  
に。」

1:27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女と  
に彼らを創造された。

1:31 神はお造りになったすべてのものを見られた。見よ。それは非常に良かった。夕があ  
り、朝があった。第六日。

植物、動物、人間《みんな命を持っています》 みんな生きています。  
しかしその差は神様の人間創造の時点で大きく異なっています。  
この差は何でしょう？

人間は身体と心と魂を持っている存在 身体、心、たましい

《どうして人間は殺してはいけないの?》 進化論の間違い。

人間の尊厳 神の“かたち”として造られた 創世記2:7

**転**、◎見えるものと見えないもの

まばたきの詩人として知られる水野源三さんの話  
水野源三さんが大好きな聖句は

**たましい の認識** 見えるものと見えないもの  
Ⅱコリ

4:18 私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。  
見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。

そして、もう一人 星野富弘さんの話

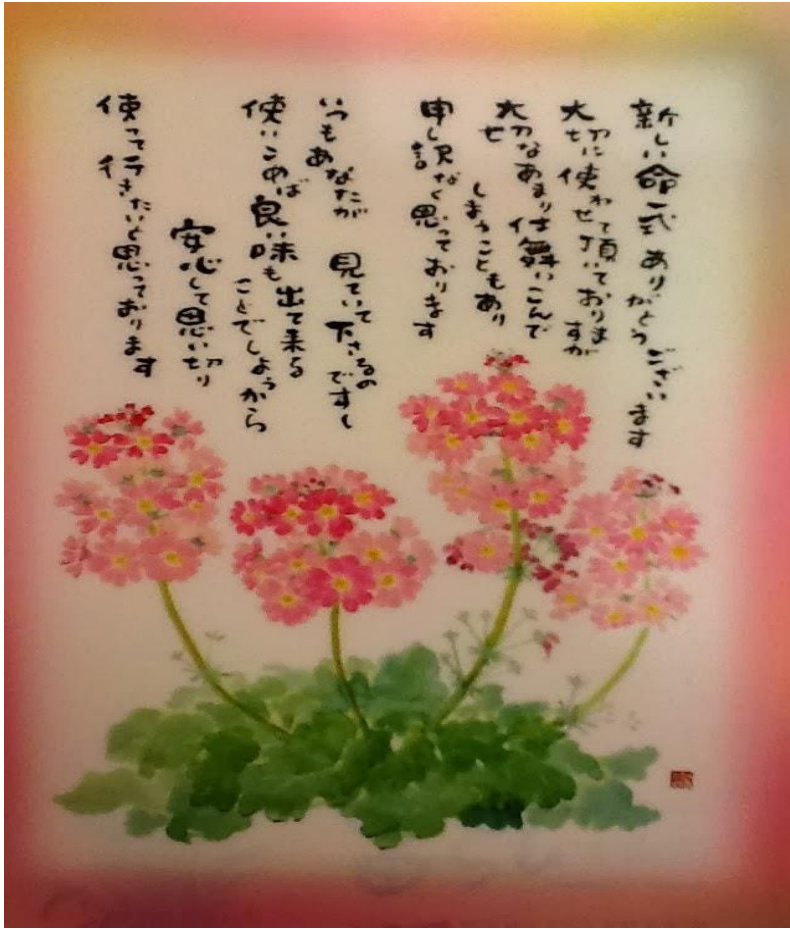
◎ 二つのいのち

『人は、たとえ全世界を手に入れても、まことのいのちを  
損じたら、何の得がありません。』

そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せ  
ばよいでしょう。』マタイの福音書16章26節

いのちが一番大切だと  
思っているころ  
生きるのが苦しかった  
いのちより大切なものが  
あると気づいた日  
ほまえているのが  
嬉しかった





結           ほんとうのいのち

◎神様は人をご自身のかたちとして創造された。

◎人は二つのいのちを持つ。   身体の生命、こころのいのち

◎わたしたちの世界には、見えるものと見えないものがある